

ISO39001:2012 規格要求事項／概説

1. 4章 組織の状況確認と適用範囲の決定

4. 1 組織及びその状況の理解

- 自社の道路交通安全に関する内部及び外部の課題を確認する
 - * 組織目的に関連し、道路交通安全の改善に影響するもの
- 道路交通安全に向けたプロセスを明確にする
 - * 道路交通システムにおける自社の役割の特定
 - * 道路交通安全に影響を与え得る自社のプロセス(活動と機能)の特定
 - * プロセスの配列順序と相互関係の決定

4. 2 利害関係者のニーズ及び期待の理解

- 利害関係者とコミュニケーション、協議、連携することが道路交通安全にとって重要
 - * 利害関係者を決定
 - * 利害関係者の要求事項
 - * 道路交通安全に関連する法律やその他の要求事項を決定
(道路交通法、車両法、労働安全衛生法など)

4. 3 RTSマネジメントシステムの適用範囲の決定

- 4.1及び4.2で把握した情報を考慮し、箇条6に規定する計画立案における要求事項を考慮して、構築するマネジメントシステムの適用範囲を決定

4. 4 RTSマネジメントシステム

- 本規格の要求事項に従って、自社のマネジメントシステムを構築、実施、維持及び改善する。

2. 5章 リーダーシップ

5.1 リーダーシップ及びコミットメント

- トップマネジメントはリーダーシップを発揮して以下の事項を確実にする。
 - * 死亡・重篤事故ゼロ
 - * 関連法規順守
 - * 事業活動との一致
 - * PDCAサイクルの採用
 - * 緊急事態への対応
 - * 継続的改善等

5.2 方針

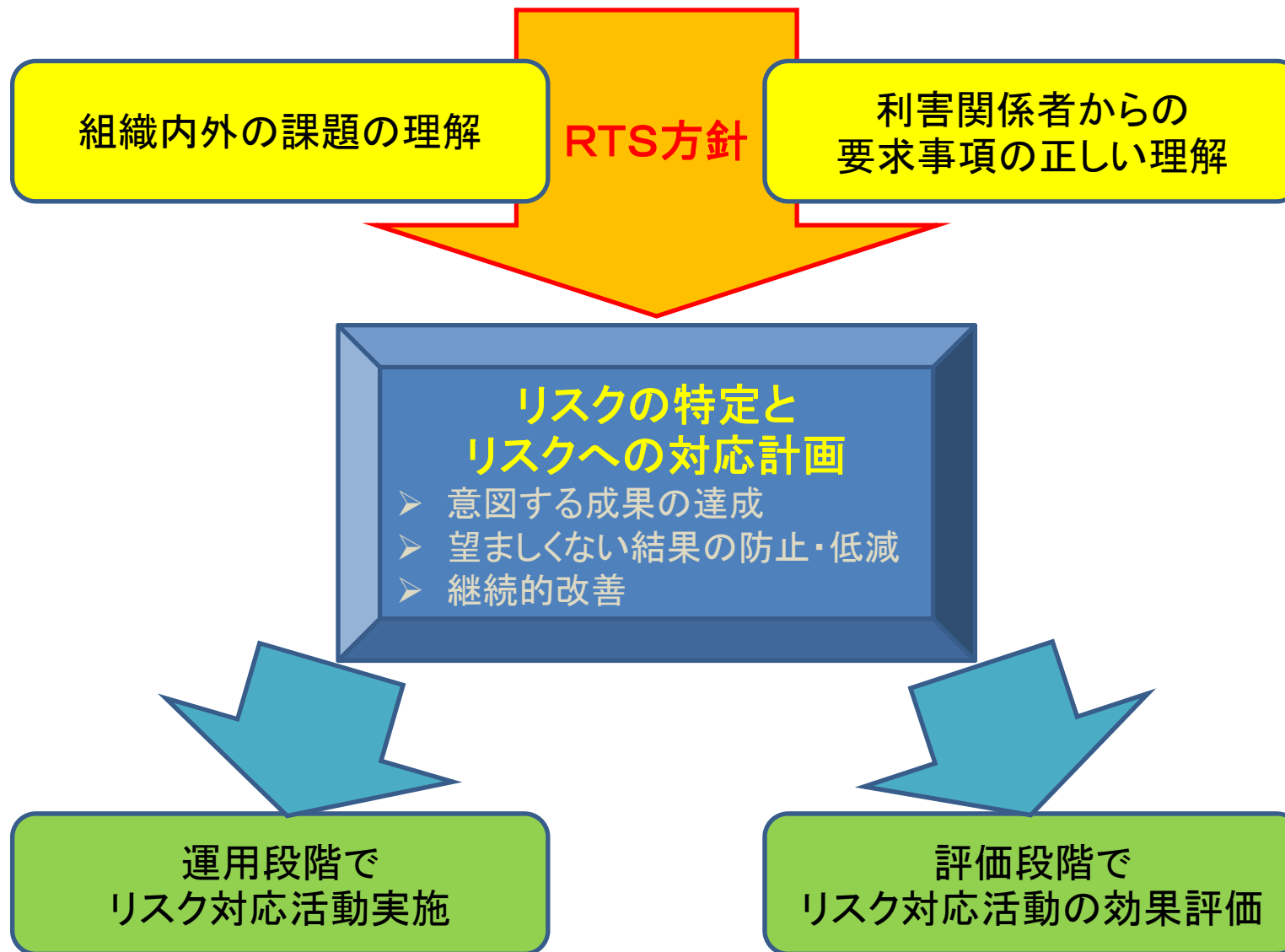
- トップマネジメントは以下を満たす方針を確立し、周知する。
 - * 組織の事業目的に一致
 - * 目標設定の枠組み
 - * 道路交通安全マネジメントシステム継続的改善の宣言
 - * 組織内への周知徹底
 - * 利害関係者も入手可能

5.3 組織の役割、責任及び権限

- トップマネジメントは以下のために責任と役割に応じた権限を割当て周知する。
 - * 道路交通安全マネジメントシステムの確立と実行
 - * トップマネジメントへの結果報告

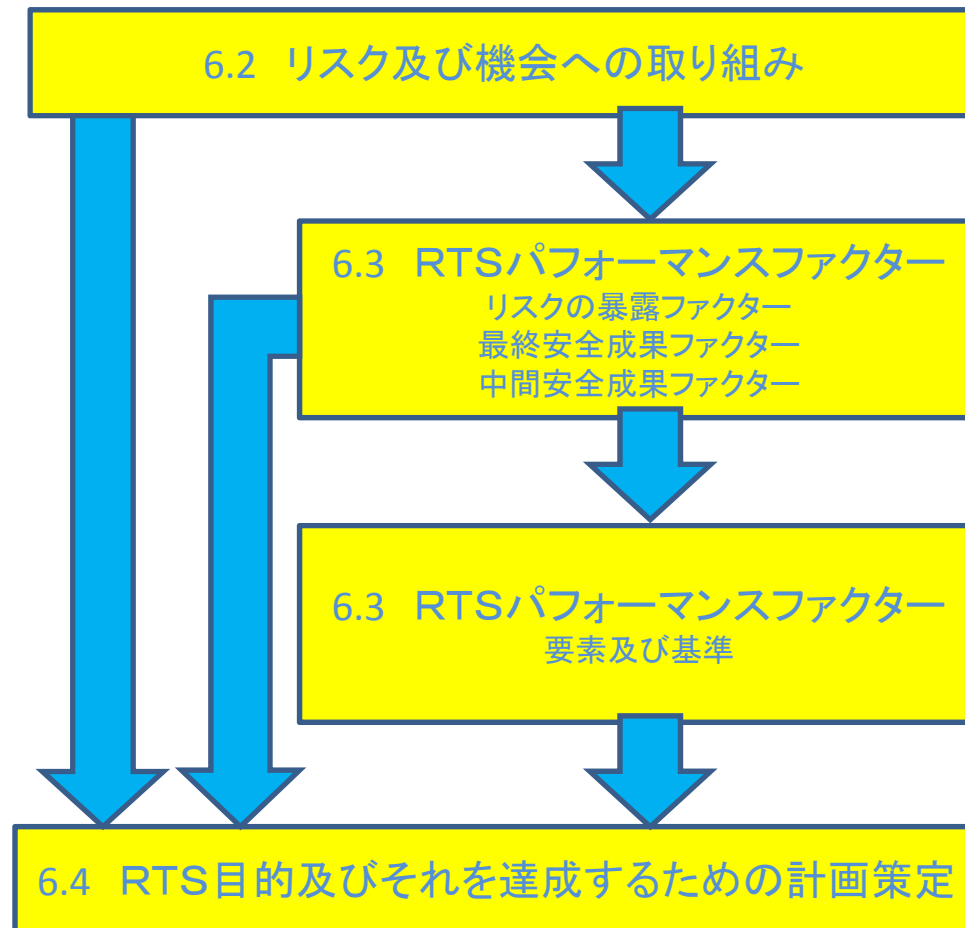
トップマネジメントの意思を全部門・階層へ反映する

3. 6章 計画立案／(1)6.1 一般



4. 6章 計画立案／(2)6.2～6.4 RTS実施計画策定

リスクの特定～RTS実施計画策定の流れ



交通安全を達成し、事故等の低減・撲滅、継続的改善できるよう「**不確実なことによる悪い影響**」と「**どのような対応が必要か**」を決定

RTSパフォーマンスファクターは、リスク評価する上で考慮すべき、道路交通安全に関連して組織が抱えている問題(現状分析)とそれらの解決案を提供

RTSパフォーマンスファクターに基づいて、リスク低減の為の**具体策(要素)**とその効果の**判断基準**を決定

RTSパフォーマンスファクターやリスク低減の為の具体策(要素)とその効果の判断基準から優先順位をつけて、**RTS目標・RTS詳細目標**に展開し、**重点施策実施計画**を策定

5. 6章 計画立案／(3)6.3 RTSパフォーマンスファクター／3つのファクター

➤ リスクの暴露ファクター Risk exposure factors

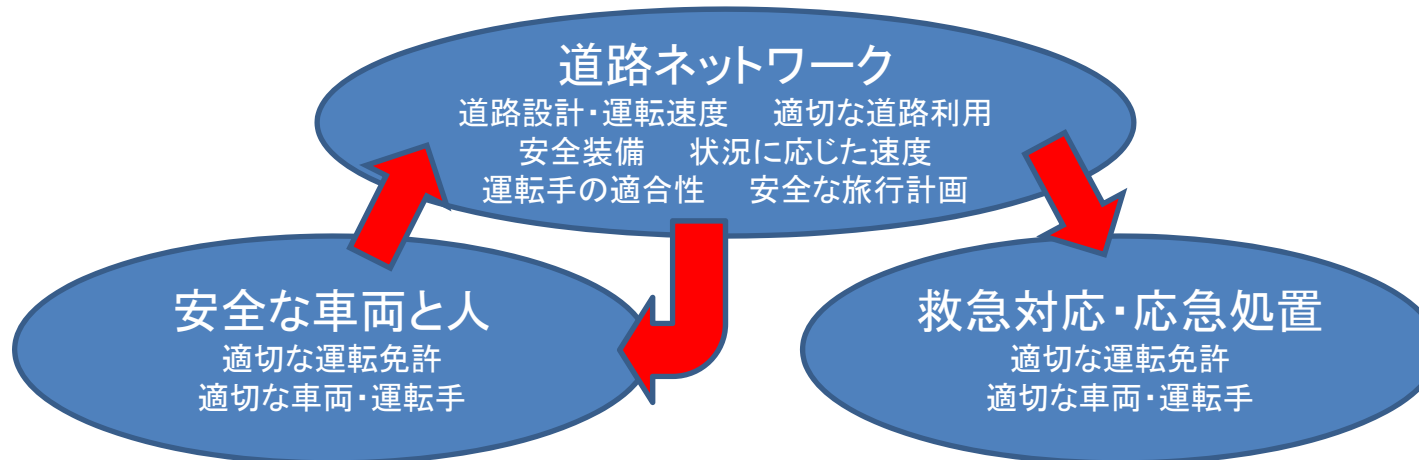
- 旅行距離及び交通量
- 生産(製品)やサービスの量
- 大型車・中型車の別
- 時間帯別

➤ 最終安全成果ファクター Final safety outcome factors

- 死亡者及び重傷者の数

➤ 中間安全成果ファクター Intermediate safety outcome factors

- 道路網及びその範囲内の製品とサービスの安全な計画、設計及び使用に係るもの
- 製品、サービス及び使用の条件
- 道路交通衝突事故被害者の回復とリハビリ
- **3つの要素**と相互関係



6. 6章 計画立案／(4)6.3 RTSパフォーマンスファクター／中間安全成果ファクター

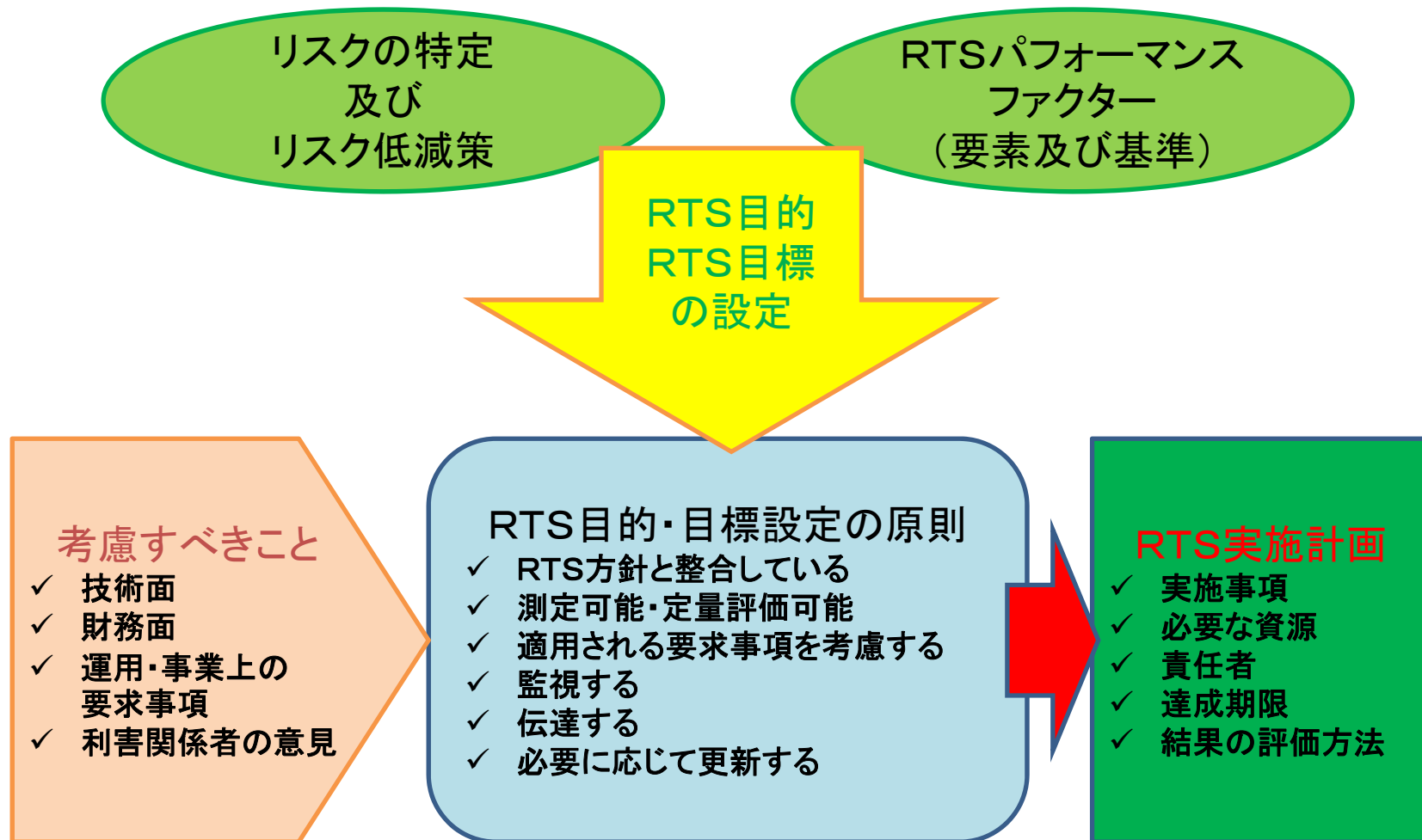
➤ 3つのファクターと4つの要素(道路・車両・人・救急処置)で要因／対策を抽出する

1. 分離や、サイドエリア、交差点設計について考慮した、道路設計と安全な速度
2. 車両タイプ、利用者、貨物と機材の種類に応じた、適切な道路の利用
3. 特にシートベルト、チャイルドシート、自転車用ヘルメット、オートバイ用ヘルメット、視認用の手段など、個人用の安全器具の使用
4. 車両タイプ、交通量、気象状況をも考慮した安全運転速度の利用
5. 特に疲労、注意散漫、アルコールと薬物を考慮した、ドライバーの順応性
6. 旅行のニーズ、旅行の日数と方法及びルート、車両、ドライバーの選択に関する考慮を含む安全な旅行計画(運行計画)
7. 乗客・乗員の保護、他の道路利用者(他の乗客・乗員同様脆弱である)の保護、道路交通衝突事故の回避・緩和策、道路適応性、車両の積載重量、及び車両に搭載する積荷の安全性に配慮した安全な車両
8. 運転している車両(二輪車両を含む)区分に応じた適切な運転免許
9. 不適切な車両及び運転者の道路ネットワークからの排除
10. 衝突事故発生後の対応、応急手当、緊急準備、衝突事故からの回復とリハビリテーション



上記のRTSパフォーマンスファクターだけでは不十分な場合、関連する道路交通インシデントを調査し、別のRTSパフォーマンスファクターを策定する。

7. 6章 計画立案／(5)6.4 RTS目的・目標・実施計画



8. 7章 サポート

➤ 効果的に運営するためにはサポート(環境整備)が必要である。

7.1 連携

- ✓ 組織内連携(関連する部門・階層)
- ✓ 外部との連携(利害関係者)
- ✓ 内部及び外部の協議と連携

7.2 資源

- ✓ RTSマネジメントシステムの確立・運用・維持及び継続的改善に必要な資源の提供
- ✓ 資源→人的資源・専門技術・インフラ・技術・財務資源

7.3 力量

- ✓ 要員の力量評価と確保
- ✓ 教育・訓練
- ✓ 処置の有効性評価

7.4 認識

- ✓ RTS方針への認識
- ✓ RTSマネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献に対する認識
- ✓ RTSマネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味に対する認識
- ✓ 事故情報の周知・教訓

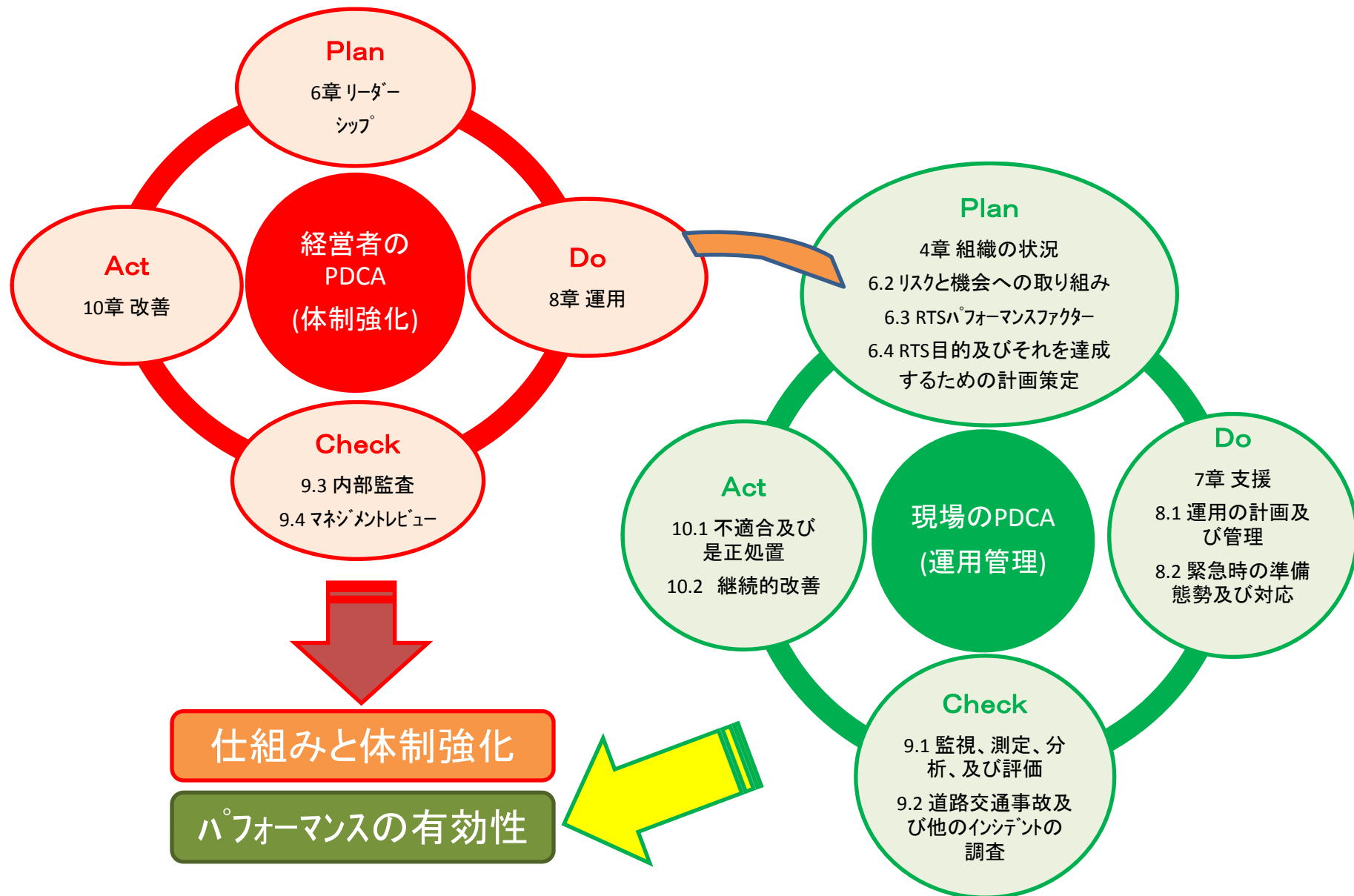
7.5 コミュニケーション

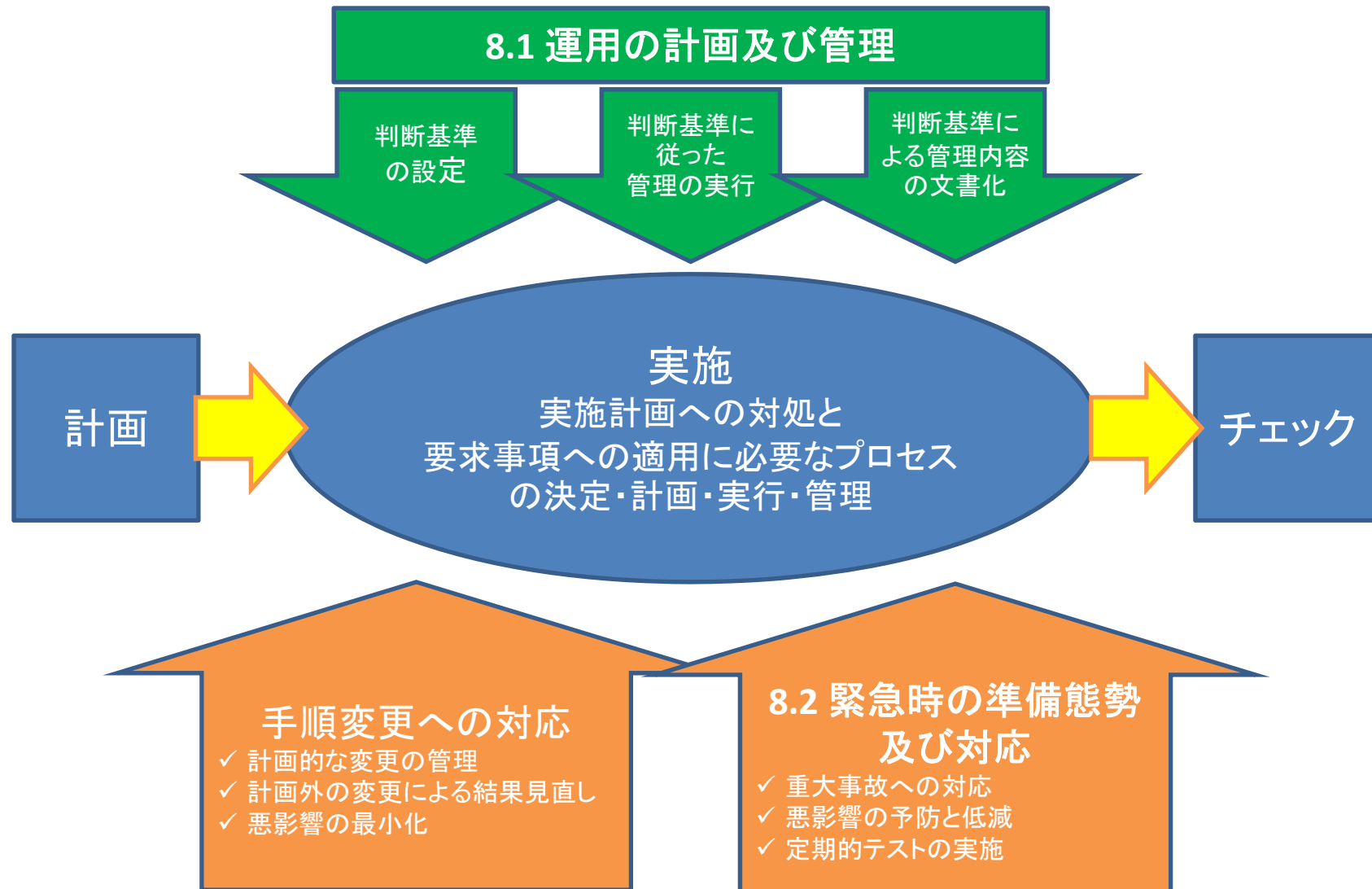
- ✓ コミュニケーションの必要性の決定
- ✓ 組織内コミュニケーション
- ✓ 外部の利害関係者とのコミュニケーション

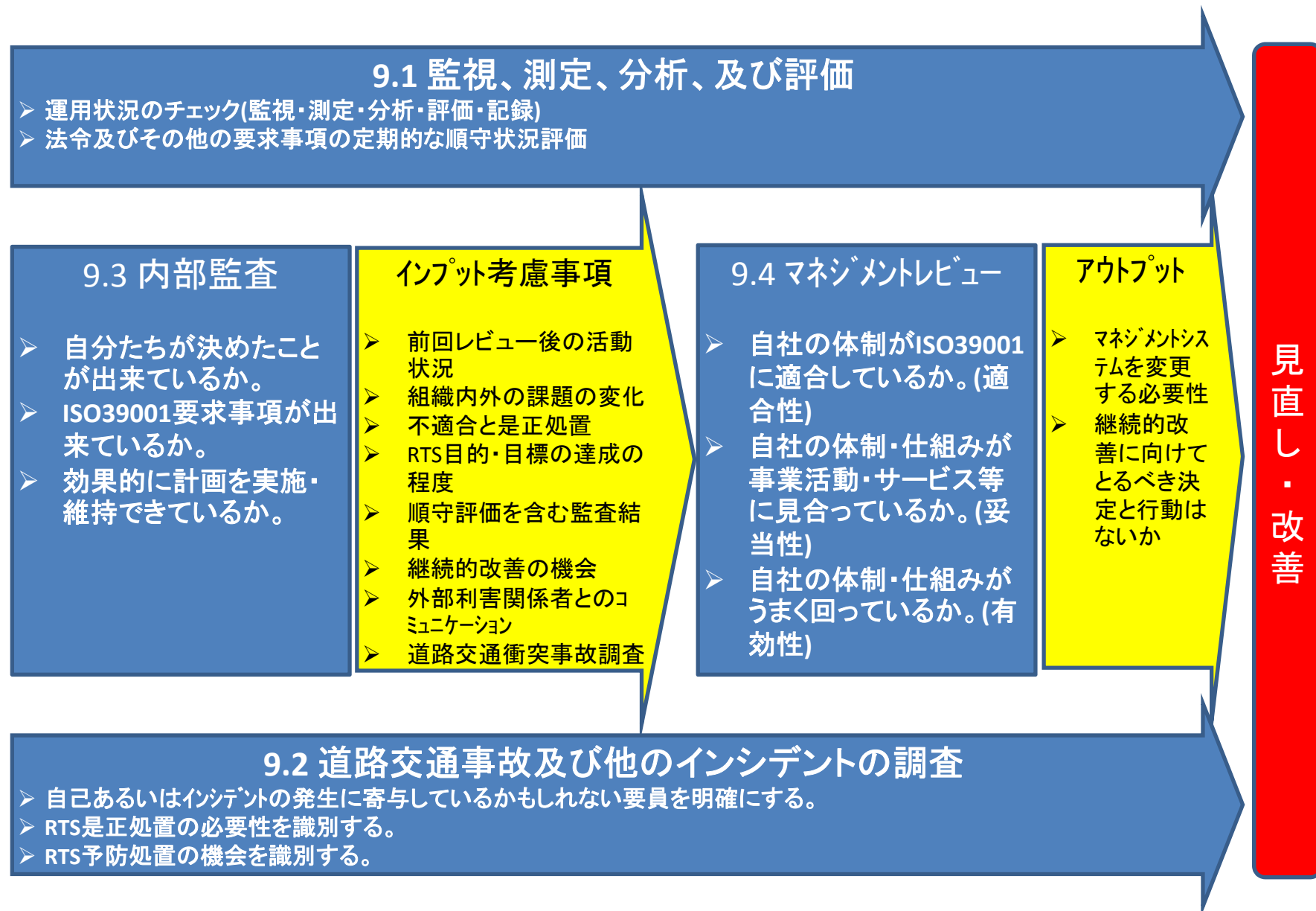
7.6 文書化された情報

- ✓ 規格が要求する文書化された情報
- ✓ 組織が必要とする文書化された情報
- ✓ 作成及び更新
- ✓ 管理(入手可能、保護、配布、アクセス、検索、利用、保管・保存、版管理、保持・廃棄)

9. 8章 運用／(1)2つのPDCA







12. 10章 改善

